



【別府】奥別府のアフリカンサファリ（神田岳委園長）でアジアゾウの赤ちゃんが生まれた。同施設にとって2年9ヶ月ぶりで3例目。暖房設備を備えた獣舎です。すくすく成長し、4月中旬以降の一般公開を目指す。

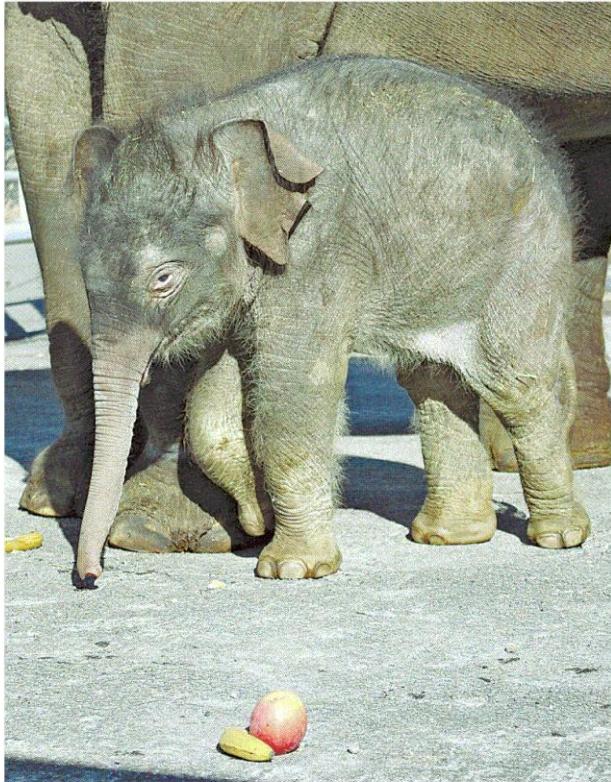
赤ちゃんが誕生したのは昨年12月19日午前1時ごろ。雌だった。父親はテム、母親はブンミー。職員と一緒にゾウの世話をするラオス人が12月のことを「タンワー」と呼んでいたことにちなみ「タワ」と名付けた。母乳をよく飲み、体重は

誕生時の128kgから142kgへと増えた。甘えん坊で、母親の足元にびつたり寄り添い、バナナなどを食べるまねをしていた。

堀江潤三飼育部長は、短い鼻を振り回して遊んだりトコトコと歩いたりする姿がかわいい。多くの皆さん

3例目、生まれたゾウ

アフリカンサファリ



昨年12月に生まれたアジアゾウの赤ちゃん。「タワ」と名付けられた=14日、奥別府のアフリカンサファリ

に早く見てもうしたい」と話した。同施設によると、アジアゾウは国内での個体数が少なく、雄と雌のマッチングも難しいことなどから出産例は珍しいという。テムとブンミーの間には2013年3月にも雄のチョイが誕

生。繁殖を目的に動物園間で貸し借りをする「ブリーディングローン」でチョイは富崎市内の動物園で飼育されている。タワを含め、施設内のアジアゾウは雄1頭、雌4頭の計5頭。

(内田杏実)



〔問①〕 奥別府のアフリカンサファリでは、何年何か月ぶりにアジアゾウの赤ちゃんが生まれましたか。

〔問②〕 アジアゾウの赤ちゃんの名前は「タワ」ですが、名前の由来はなんですか。

〔問③〕 タワには、2013年に生まれたお兄ちゃんがいます。お兄ちゃんの名前は何ですか？

〔問④〕 動物の赤ちゃんを産むために、動物園や水族館で動物を貸し借りすることを「ブリーディングローン」と言いますが、アジアゾウのほかにどんな動物が誕生しているか調べてみよう。
